

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有高		運転資金として			28,696
普通預金	北洋銀行平岸中央支店		運転資金として			33,496,889
定期預金	北海道信用金庫琴似支店		運転資金として			15,000,000
			小計			48,525,585
事業未収金	訓練等給付費		2月～3月給付費			16,358,399
	作業工賃		2月～3月工賃			628,998
			小計			16,987,397
	流動資産合計			0	0	65,512,982
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(ふれあいの家拠点) 札幌市西区平和2条7丁目2-10		グループホームで使用			7,164,400
	(アベニュー16拠点) 札幌市中央区大通西16丁目1-13		就労継続支援B型で使用			3,313,031
			小計			10,477,431
建物	ふれあいの家	2017年度	グループホームで使用	24,375,000	2,862,217	21,512,783
	アベニュー16	2011年度	就労継続支援B型で使用	7,059,869	3,967,058	3,092,811
			小計			24,605,594
	基本財産合計			31,434,869	6,829,275	35,083,025
(2) その他の固定資産						
建物	(よろこびの家拠点) 札幌市西区西野5条3丁目6-1	2007年度	就労継続支援B型で使用	3,233,100	3,233,099	1
	(よろこびの家拠点) 札幌市西区西野5条3丁目6-1	2009年度	就労継続支援B型で使用	260,000	259,999	1
	(よろこびの家拠点) 札幌市西区西野5条3丁目6-1	2014年度	就労継続支援B型で使用	818,800	443,517	375,283
	(第2よろこびの家拠点) 札幌市豊平区旭町6丁目1-34	2009年度	就労継続支援B型で使用	335,843	335,842	1
	(第2よろこびの家拠点) 札幌市豊平区旭町6丁目1-34	2015年度	就労継続支援B型で使用	529,200	264,600	264,600
	(第2よろこびの家拠点) 札幌市豊平区旭町6丁目1-34	2016年度	就労継続支援B型で使用	993,600	397,440	596,160
	(アベニュー16拠点) 札幌市中央区大通西16丁目1-13	2011年度	就労継続支援B型で使用	10,011,750	5,625,769	4,385,981
	(ふれあいの家拠点) 札幌市西区平和2条7丁目2-10	2017年度	グループホームで使用	216,000	61,200	154,800
			小計			5,776,827
構築物	(ふれあいの家拠点) 札幌市西区平和2条7丁目2-10		グループホームで使用	1,800,000	310,000	1,490,000
車輜運搬具	(よろこびの家拠点) ホンダ ステップワゴン		就労継続支援B型で使用	1,993,197	1,993,196	1
	(第2よろこびの家拠点) トヨタ ハイエース		就労継続支援B型で使用	2,974,155	2,974,154	1
	(アベニュー16拠点) ホンダ ステップワゴン		就労継続支援B型で使用	1,929,000	1,928,999	1
			小計			3
器具及び備品	(第2よろこびの家拠点) 点字機器3台		就労継続支援B型で使用	935,400	839,638	95,762
	(よろこびの家拠点) エアコン		就労継続支援B型で使用	158,000	157,999	1
			小計			95,763
敷金	(ふれあいの家拠点)		ふれあいの家他敷金	695,000	0	695,000
	その他の固定資産合計			27,210,285	19,152,692	8,057,593
	固定資産合計			58,645,154	25,981,967	43,140,618
	資産合計			58,645,154	25,981,967	108,653,600
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	よろこびの家他工賃					580,525
預り金	ふれあいの家敷金他					420,000
職員預り金	本部他所得税他					437,769
賞与引当金	よろこびの家他					2,087,000
	流動負債合計			0	0	3,525,294
2 固定負債						
	固定負債合計			0	0	0
	負債合計			0	0	3,525,294
	差引純資産			58,645,154	25,981,967	105,128,306

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・使用目的等欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意すること。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当しえるものと、該当しえないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、貸借対照表価額と一致させるものとする。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載すること。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）についてのみ「減価償却累計額」欄を記載すること。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。
- ・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。